

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

> さいたま市立 太田小学校 > > > > > > >

学校教育目標

『自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成』

「やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小」をキャッチフレーズとして、子どもたちにとって居場所のある学級づくりや、家庭や地域とともに歩む学校づくりを推進しています。



■所在地：さいたま市岩槻区仲町1-17-3

■電話：048-756-0515

■FAX：048-758-7487

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩20分

01 児童が安心して生活でき、いのちを大切にできる学校づくり



本校では、さいたま市の「心のサポート推進事業」の取組の一つである、「予防開発的な教育活動の充実」を目指し、「SOSの出し方に関する教育」について研究を進めてきました。

「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」の全学年実施や、児童会によるあいさつ運動、特別活動部による兄弟学級や集会等の活動等により、SOSを出したり受け止めたりすることができ児童の育成に取り組んでいます。

また、教職員も児童のSOSを受け止められるよう、児童へのアンケートの実施や面談週間の設定等を行い、生徒指導・教育相談体制の充実を図っています。昨年度から進めているSTEAMS教育の研究を推し進め、自他を大切に、未来社会をリードする人材の育成に努めてまいります。



02 児童とともに育てる家庭・地域との連携、教育環境の整備



家庭や地域と連携を深め、児童のSOSに気付くことができるよう、情報発信と共有化を図っています。岩槻中学校や岩槻小学校、地域との意見区間の場であるコミュニティスクールの活動も推し進め、学校と地域とのつながりを強められるよう努めています。

また、児童の安心感が向上できるように教育環境の整備を行いました。給食時にはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員などの相談員を紹介したり、相談窓口の掲示などを行ったりして、相談しやすい環境づくりに努めています。全学級のいじめ撲滅スローガンや人権標語の廊下掲示により、支持的風土の醸成にも努めています。

さらに、今年度はユニバーサルデザインの視点から、児童が集中しやすい教室づくりを目指し、掲示物の精選を行って教室前面の掲示を最小限にしたり、カーテンで掲示物を隠したりする工夫を行っていきます。

